

南房総市行政改革推進委員会第1回会議 会議録

1. 日 時：平成31年4月16日（火） 午後1時30分～午後3時00分
2. 場 所：南房総市役所本庁 別館1 多目的室
3. 出席者：
行政改革推進委員会委員：池田 礼子委員、石井 美智代委員、白川 牧子委員、
八代 弘樹委員、寺澤 利郎委員、長谷川 博委員、
近藤 博委員
南房総市：市長、副市長、教育長、保健福祉部長、市民生活部長、農林水産部長、
商工観光部長、建設環境部長、富山国保病院事務長、朝夷行政センター
所長、水道局長、会計管理者、議会事務局長、教育次長、事務局
（企画財政課長、企画財政課長補佐、総合政策係長、担当）
4. 次 第：
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 行政改革推進本部長（市長）あいさつ
 - 4 委員・本部員照会
 - 5 会長・副会長選出
 - 6 議事
(1) 南房総市行財政改革方針2018の評価・検証方法について
 - 7 その他
 - 8 閉会
5. 配布資料：「会議次第及び席次表」、「委員名簿及び市本部員名簿」、「資料1 南房総市事務事業の見直し方針案」、「資料2 南房総市行財政改革2018 平成30年度総括表」、「南房総市行財制改革方針2018」
6. 審議概要、結果等

○委嘱状の交付

市長より新たに7人の委員へ行政改革推進委員の委嘱状を交付

○会長、副会長の選出

会長は寺澤委員、副会長は八代委員を選出

○議事について（主なものを抜粋）

委員：各計画がある中での行財政改革方針 2018 の位置づけ及び行政改革推進委員会に期待している役割は。

回答：総合計画は市全体の方向性を示した計画であり、その中で行財政改革方針 2018 では実際にどのような事務改善や効率化を図っていくか、住民サービスの向上を図っていくかを計画として示したもの。委員会へは進捗状況等を報告していく中で、住民目線としての意見を頂戴したいと考えている。

委員：評価方法について。以前は ABCD のような評価があったが、ぱっと見わかるような評価はしないのか。

回答：前回の評価方法は 114 項目ですべての項目を評価しており、財政的な視点が強かった。わかりづらいという意見があったため、各部署の方で代表的なものを記載する案となった。

委員：計画の期間が 5 年間だが、計画の見直しは途中であるのか。

回答：基本的には変えないが、毎年委員の皆さんに進捗管理を報告する、その中で計画を変える場合は委員の皆さんに図った後に変更する。

委員：公共施設の延べ床面積の関係で、数字だけ見てもわからない。具体的に何を壊したのかななどを明記してほしい。

回答：公共施設の延べ床面積の下に、具体的な施設名を記載すればわかりやすくなるか。

委員：わかりやすくなる。

委員：施設の今後の利活用について議会に出された公共施設等総合管理計画の個別計画資料は、行革委員には出さないのか。

回答：次回委員会の席で配布したいと考えている。ただし、常に見直ししているものなので、あくまで計画はその時点での計画ということをご理解いただきたい。

委員：資料 2 の 1 ページだが、従来 114 項目での示していた評価を代表的なものを 2 つ選ぶとピンと来ないのでは。職員の作文力でよく見えてしまう恐れがあるのでは。

回答：114 項目のローリングもよいとは思いますが、行政改革の一定程度効果が出てきている中で、経費削減だけではなく部署単位での主だったサービスの向上を掲載したいため、また、わかりやすい内容にしたいために今回の案を考えた。

委員：各部署が選ぶ際の基準は。

回答：今までは達成等関係なく 5 年間同じ指標だった。これからは改善が必要なものや成果が見込めてサービスの向上につながるものを各部署に作ってもらう。また、委員会の前に本部会議があるので本部員に精査してもらう。

以上